

流動床式

# 生物活性炭処理設備

## 生物活性炭処理

通常の浄水処理（凝集、沈殿、ろ過、消毒）では除去できない物質の処理を目的に、生物接触分解処理と活性炭吸着処理の効果を併せ持つ高度浄水処理方法です。

各処理方法と対象成分の除去性

対象成分 処理法	臭気	トリハロメタン 前駆物質	色度	アンモニア性 窒素	陰イオン界面 活性剤
活性炭吸着	○	○	○	×	○
生物接触分解	○	×	×	○	○
生物活性炭	○	○	○	○	○

## 流動床方式

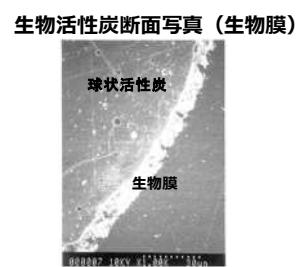
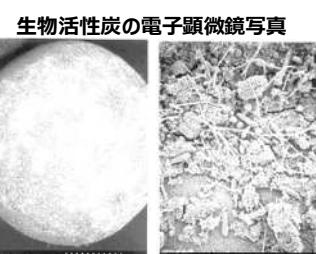
活性炭充填床下部から通水する方式で、以下の特長があります。

- ・圧力損失が少ない
- ・通水により活性炭床が膨張し流動するので、濁質成分を捕捉せず、洗浄操作が少ない
- ・小粒径活性炭の使用により容積当たりの表面積が大きく、設備がコンパクト
- ・活性炭の流動により生物層が常に更新されるため、安定した処理効果が持続
- ・低ランニングコスト

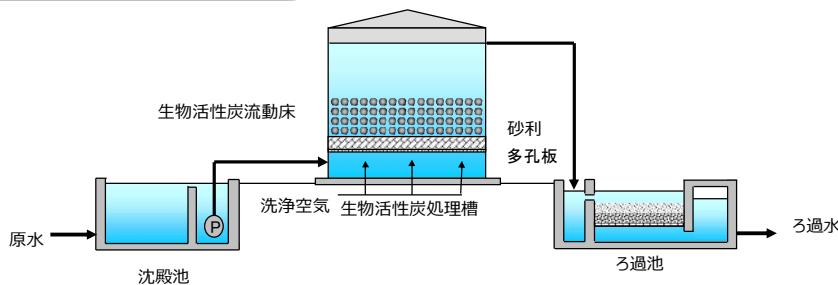
## 独自の球状活性炭

高強度、耐磨耗性に優れ、流動性の良い球状活性炭を使用しています。

- ・流動による損耗や再生によるロスがない
- ・処理水量の変動にも良好に追従
- ・活性炭の張り込み、抜き出しが容易



## 生物活性炭処理設備フロー例



## 納入設備



### 納入設備仕様

除去対象	アンモニア性窒素 トリハロメタン前駆物質
処理水量	14,400 m <sup>3</sup> /日
槽形状	φ7.14m×8.55mH
活性炭層高	1500mm（静置時）
活性炭形状	平均φ0.5mm球状
洗净方法	空気・水併用
付帯設備	・リン酸注入設備 ・PAC注入設備 ・洗净用空気設備